

ご挨拶

第6回日本糖尿病理学療法学会学術大会
大会長 浅田 史成
大阪労災病院治療就労両立支援センター



この度、第6回日本糖尿病理学療法学会学術大会を2019年9月14日（土）に沖縄コンベンションセンターで開催させて頂くことになりました。

テーマは「生活習慣病への挑戦～健康に導く力を共に考える～」としました。肥満をベースにした2型糖尿病などの生活習慣病対策は、医療費の増大を食い止めるために必要です。生活習慣病治療のための医療は日進月歩であり、特に薬物療法の進歩は目を見張るものがあります。しかし、生活習慣病の治療および予防のために必要なことは生活習慣の改善です。特に糖尿病理学療法において用いられる運動療法は、生活習慣病だけでなく、ロコモやフレイルなどの運動器疾患の治療・予防に繋がります。この基本的な運動療法を効果的に用いるため、対象者のライフスタイル、職業、身体機能、心理的状态を把握し、食事療法、薬物療法をもふまえた運動および身体活動の推奨が望まれています。単なる治療としてエビデンスのある運動療法を推奨するのではなく、対象者の詳細な背景を加味した理学療法の提供が望まれています。生活習慣病患者を、より健康に導く力を提供できるような関りができる専門職として、スキルと志しを持ちチームアプローチに貢献しなくてはなりません。本学術集会にて臨床、研究、教育に関して真摯に議論していただき、熱い思いを日本の南から発信したいと考えています。

今回は第4回日本心管理理学療法学会（内山覚大会長）と合同開催となっています。2つの関連する学術集会に同日程でご参加いただき、内部障害に対するアプローチをより深く掘り下げた知識を共有できるのではないのでしょうか。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。